

「殺生石」物語考

物語の概略 ⑬

深く叡感された鳥羽天皇は、藻は生まれながらの秀才にして仏教も悟り心が清く澄んでいいため、こういうこともあるのであるろうとお考えになった。そこで、天皇は藻に、「輝く」という意味を持つ、玉の一字を賜った。藻は、これより玉藻前と呼ばれる。近臣たちは皆、藻を怪しんだが、天皇の御寵愛をおもんばかって諫めることを憚った。鳥羽天皇の御寵愛は一段と深まり、玉藻前をおそばから片時も離さない。それにつれ、皇后や他の御局の寝所に通う天皇の足も遠のき、玉藻前は、恨みを持たれるようになった。

しかし、鳥羽天皇はやがて、昼夜の別なく物怪がついたように苦しまれ、時には狂人のように転げ回ったかと思うと、またお静かになった。天皇のお顔は日ごとに青ざめ、龍体は急におやつれになる。典薬頭らは、原因を種々議論しあつたが為す術がない。

諸寺、高僧、貴僧らもみな、加持や祈禱に秘法を尽くしたが効果はなかつた。ここに、陰陽の博士、安倍晴明より数えて六代の孫、安倍泰親は、密かに、易室を清め、身は齋戒沐浴すると、占いに専念した。

やがて、その占いに、異形の魔畜が天皇に添え奉っているとの卦が出た。泰親は、身から光を放つた過日の出来事と重ね合わせ、玉藻前こそ、陰獣の物怪であり、天皇の御悩みの原因であると確信する。泰親は直ちに、関白忠実公の館に赴き、事の次第を説明する。公はすぐさま参内し、泰親が申した次第を天皇に相聞した。その時、玉藻前は密かに、物陰でそれを聞き、泰親を恨む。



筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生 (湯本在住)

今月のひとこと

掛け声を一つに合わせ雪道の車の後押す見知らぬ同士

かつこう

獺は取った魚をすぐには食べず、その縁に並べる習性があり、うに見立てた季語が「獺魚を祭る」。七十二候の一つで立春を過ぎた頃を言う。転じて、多くの書物を机に並べて読んだり調べたりする様子にも使われるようになった▼立春を過ぎていよいよ始まるのが確定申告。過去

には、水稲農家は農業所得標準方式による申告が認められていた。作付面積に応じて一定の計算式で所得額が決まるので農家の負担はほとんどなかったが、段階的に廃止され、平成18年には全ての農家が収支計算方式による申告に移した。町の申告相談会場でも、まさに獺祭のごとく、帳簿や何枚もの領収書を机の上に並べる様子があちこちで見られた▼国税庁ホームページでは、今年1月から利用手続

きを簡便化したりスマートフォン対応にしたりと、自宅等で行える電子申告e-Taxの普及を進めている。収支計算が定着し今では多くの農家が売上と経費の計算を済ませて申告に臨んでいるように、便利なe-Taxも更に定着が進むだろう▼「年が明けても、申告が終わるまでは何だか落ち着かない」と話す農家がいた。e-Taxでスマートフォンに申告を終わらせた後の晩酌は、銘酒ではなくても、きつと美味しく感じるだろう。

赤ちゃん

こんにちは

三森 仲町
唯桜 (右)
み 滯桜 (左)



平成30年
7月10日生

父 賢一さん 母 恵美さん

唯桜、滯桜ちゃんは…

いつもニコニコ笑顔の双子ちゃん! みんなの癒しです!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(1月1日現在・住民基本台帳)

()の数字は前月比

・世帯数 10,276世帯 (-8)

・人口 25,288人 (-23)

男12,553人(-6) 女12,735人(-17)

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。